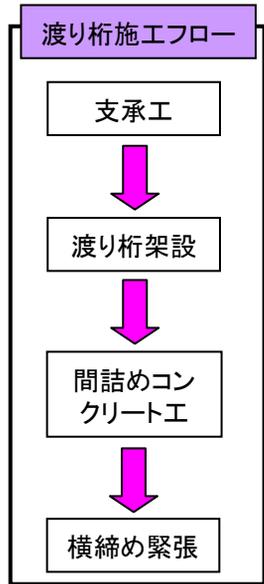
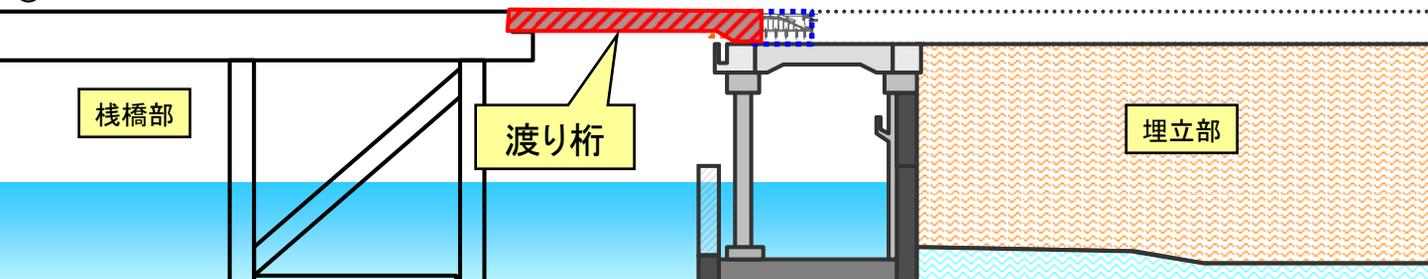




埋立部	栈橋部
接続部	連誘部
環境	その他
工種名：渡り桁工	

接続部井筒護岸の概成に伴い、渡り桁の施工が始まり、栈橋部と埋立部が渡り桁によってつながりました。現在全273本中、10本の架設が完了しています。今回は、渡り桁工について紹介します。



埋立部側の台座コンクリート施工中の様子です。この上にゴムの支承を設置します。



ゴム支承



架設は、150tのクローラークレーンで行います。また、航空機の離発着の妨げにならないように夜間に架設しています。



渡り桁は、プレキャストコンクリート桁で、長さ約15m、幅約1.5m、重量は約38tになります。

架設後は、桁間の間詰めを行い、ブロック単位で緊張します。写真は間詰めコンクリートの養生状況です。



写真はH21年10月現在の渡り桁の架設状況です。ジャケット据付に伴い、順次架設されます。来年の5月には、渡り桁が全て架設される予定です。また、今後は埋立部の沈下に対応した伸縮装置も順次設置されていきます。